

主な規格

レシーバー

受信電波型式	FM (F3E)
受信周波数	B11 806.125MHz B12 806.375MHz B13 807.125MHz B14 807.750MHz B15 809.000MHz B16 809.500MHz
受信感度	-15dB μ at S/N 50dB
受信選択度	\pm 200kHz/-60dB
受信方式	ダブル・スーパー・ヘテロダイ /トウラー・ダイバーシティ方式
局発方式	水晶制御発振
ノイズリダクション方式	dbxタイプII
アンテナ入力インピーダンス	50 Ω
S/N比	93dB (オーバーオール)
オーディオ周波数特性	50Hz~13KHz
全高調波歪	0.7%以下(オーバーオール)
ディ・エンファシス	50 μ Sec
オーディオ出力レベル	0dBv at (Δ 5 \pm 20KHz)
オーディオ出力インピーダンス	アンバランスド 5K Ω バランスド 600 Ω (MRG800Bのみ)
アンテナ型式	$\lambda/2$ 単一型
動作温度範囲	0 $^{\circ}$ C~50 $^{\circ}$ C
コントロール	パワーON/OFF オーディオ・レベル
インジケータ	パワーON/OFF ダイバーシティA/B ミュート AFシグナル・メーター
電源	AC100v 50/60Hz 12w
寸法	480(W) \times 44(H) \times 145(D)mm
重量	2.9kg(アンテナを含む)
付属品	アンテナ $\lambda/2$ 単一型 2本 チャンネルシール 2枚 取扱説明書 1冊 保証書 1部 ゴム足 4個 ビス 4個 ビス (M2.6 \times 6) 8本 (BNCコネクタ付け替え用)

トランスミッター

送信電波型式	FM (F3E)
送信周波数	B11 806.125MHz B12 806.375MHz B13 807.125MHz B14 807.750MHz B15 809.000MHz B16 809.500MHz
発振方式	水晶制御発振
オペレティングレンジ	約50~100m
周波数安定度	20ppm以内
スプリアス	-25dBm以下
アンテナ形式	$\lambda/4$ 単一型
プリエンファシス	50 μ Sec
オーディオ周波数特性	50Hz~13KHz
周波数ディビエーション	\pm 20KHz(-20dBv入力)
S/N比	93dB(オーバーオール)
オーディオ歪率	2%以下0dBv・1KHz
電池	9Vアルカリ乾電池一本 テュラセル MN1604 パナソニック 6LR6IN
連続使用時間	5~8時間(常温、指定電池)
動作温度範囲	0~55 $^{\circ}$ C
コントロール	電源スイッチ、ミュート・スイッチ、 パッド・コントロール
インジケータ	バッテリー・ロー
寸法・重量	60(W) \times 24(H) \times 100(D)mm 220g ケーブル0.95m
付属品	アルカリ乾電池 (MN1604) 1本 ハード・ケース 1個 ドライバー 1本

dbx NOISE REDUCTION 800MHz HIGH BAND

MS800 MS800B

WIRELESS SYSTEM 取扱説明書

Maxon
advanced technology works.

はじめに

このたびはMAXONワイヤレス・ギター・システムMS800、ワイヤレス・ベース・システムMS800Bをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。MS800シリーズはdbxノイズリダクションと800MHz帯の採用。さらにダイバーシティ受信方式により高い信頼性と安定性を追求したエレクトリック・ギター/ベース用のワイヤレス・システムです。ご使用になる前にシステムの性能を充分発揮させ、正しくお使いいただくためにこの取扱説明書をお読みください。また、お読みになった後は保証書と一緒に大切に保管してください。

特長

- ◆コンパクターにdbxノイズリダクションを採用し、広ダイナミックレンジ、高S/N比を実現しました。
- ◆特定小電力無線局の無線設備用に割り当てられた800MHz帯の採用とダイバーシティ受信方式により、他の無線器機との混信に強く、安定した送受信が可能です。
- ◆6チャンネルの周波数(RCRチャンネルプラン、B11~B16)を標準で設定しました。同一場所で同時に複数のワイヤレス・システムの運用が可能です。
- ◆好条件下で約100mのオペレーティングレンジを実現しました。ライブ・ハウスから大ホールまで幅広い対応が可能です。
- ◆電波法による免許申請等は不用です。どなたでも自由に運用できます。
- ◆トーンスケルチの採用によりオートミュートが働き受信状態が悪化した際の妨害電波によるノイズや混信を防ぎ、トラブルのない運用が可能です。

※DBXノイズリダクションはCARILLON TECHNOLOGY, INC.からの実施権に基づき製造されています。DBXはCARILLON ELECTRONICS CORPORATIONの登録商標です。

目次

ご使用の前に..... 2

トランスミッター部の取扱方法..... 2

各部の名称と使い方..... 3

トランスミッター寸法図..... 5

レシーバーの取扱方法..... 5

各部の名称と使い方..... 6

アンテナの取付方法..... 8

接続例 オプション..... 9

ワイヤレスシステムの上手な使い方..... 10

レシーバー寸法図・ブロック図..... 11

主な規格..... 12

ご使用の前に

ご使用場所について

- ◆自動車、照明用調光器、蛍光灯、大型モーター、コンピューターなどのOA機器やデジタル回路を使用した電子楽器は雑音電波を発生する場合があります。ワイヤレスシステムはそれらの機器から影響を受けない位置まで離して設置してください。
- ◆振動の多い場所、直射日光の当たる場所、高温多湿の場所、砂やほこりの多い場所への設置はお避けください。
- ◆このワイヤレス・システムは日本国内専用です。海外ではご使用になれませんのでご注意ください。

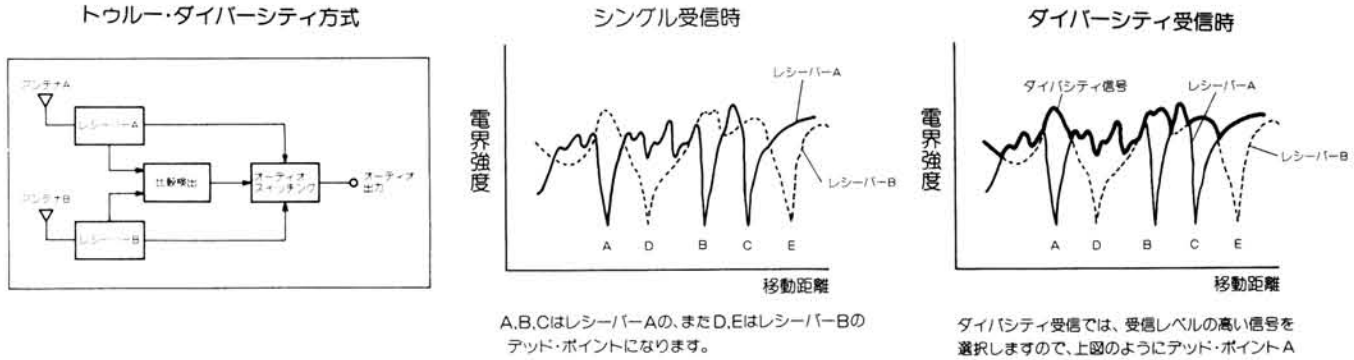
電源について

- ◆トランスミッター(送信機)の電源には必ずアルカリ乾電池(DURACELL MN1604またはPanasonic 6LR6IN)をご使用下さい。指定以外の電池をご使用になりますと定格通りの連続使用時間は保証されません。
- ◆電池を長持ちさせるため、使用していない時は電源スイッチをOFFにしてください。また長時間ご使用にならない時は乾電池を抜き取ってください。
- ◆レシーバー(受信機)の電源はAC100Vです。タコ足配線により電圧が下がりますと、ハム(ブーンというノイズ)の原因となりますのでご注意ください。

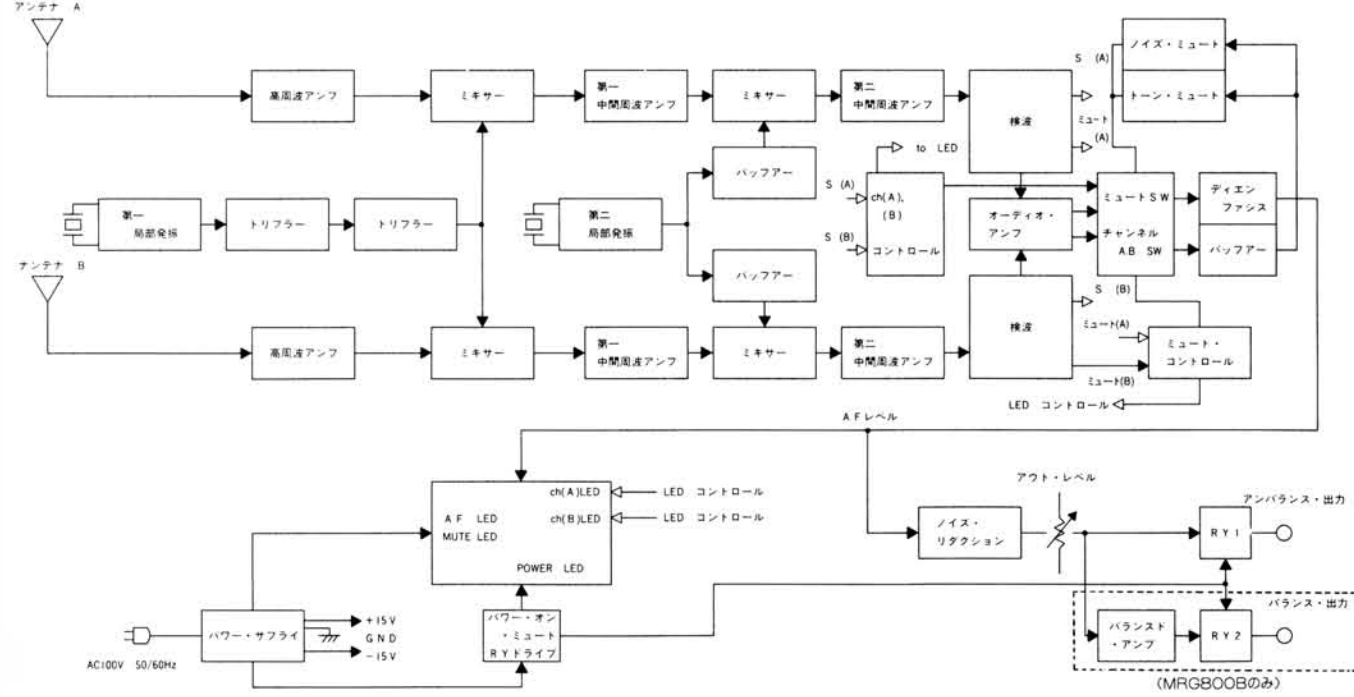
ご使用について

- ◆落としたり、ぶついたりしないよう、ていねいに扱ってください。
- ◆水に濡れた場合は電源スイッチをOFFにし、乾いた布で拭き取ってください。
- ◆トランスミッターのアンテナを手にとってぶらさげたり、曲げたりしないでください。
- ◆本シリーズはMS800(MTX8/G+MRG800)、MS800B(MTX8/B+MRG800B)のセットとなっております。別のトランスミッターや別のレシーバーとの組み合わせは誤動作や故障の原因となりますので、必ずセットで使用してください。

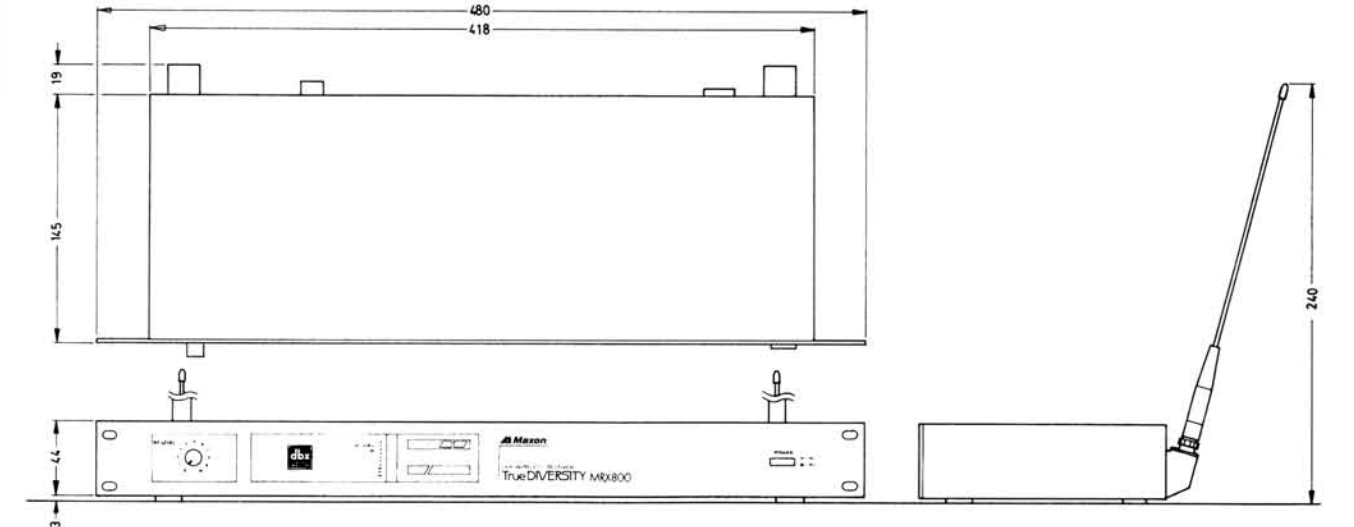
- ◆トウルー・ダイバーシティ受信方式では下図のように受信部「A」と受信部「B」の内、受信レベルの高い受信部を常に選択するため、従来のシングル受信方式に比べてデッド・ポイントの発生が極めて少なくなりました。



MRG800、MRG800Bブロック、ダイアグラム



寸法図



ワイヤレス・システムの上手な使い方

◆周波数チェック方法

ワイヤレス・システムはトランスミッターとレシーバーの送受信チャンネル(周波数)が同じでないと使用できません。以下の手順でチャンネルのチェックができます。

1 レシーバーの電源スイッチをONにして受信可能な状態にします。(この時トランスミッターの電源スイッチはOFFにしておきます)

この状態でダイバーシティA/B表示が点灯している場合は、すでに同じチャンネルのワイヤレス・システムが近くで使用されているか、近くの電子機器(コンピューター、シンセサイザーなど)から雑音電波が発射されています。このような場合はこのチャンネルは使用できませんので、別のチャンネルを選んで使用してください。

2 1でダイバーシティA/B表示が消灯状態にあり、トランスミッターの電源スイッチをONにし、この時ダイバーシティA/B表示が点灯すれば送受信ともチャンネルは同一ですのでご使用が可能です。

3 トランスミッターの電源をONにしてもダイバーシティA/B表示が点灯しない場合は、送信側と受信側のチャンネルが合っていません。この状態ではご使用になりませんので直ちに販売店にご相談ください。

◆雑音のないきれいな音で使用するには

自動車、照明用調光器、蛍光灯、大型モーター、コンピューター、ワード・プロセッサー、デジタル・エフェクター、AV機器、レーザー・カラオケなどは雑音電波を発生する場合があります。妨害を受ける場合は、レシーバーをできるだけそれらの機器から影響を受けない位置まで離して設置してください。やむを得ずそれらの機器と間隔がとれない場合は、トランスミッターをなるべくレシーバーに近い位置で使用してください。

◆デッド・ポイント

本シリーズはデッド・ポイントを解消するためダイバーシティ受信方式を採用していますが、電波を吸収したり反射したりする金属物が乱立している場所ではデッド・ポイントが発生しやすくなります。音切れのない安定した受信状態を得るため、これらの金属物からアンテナを遠ざけるか金属物を排除し、最も受信状態の良い場所を選んでアンテナを設置することが重要です。

お手入れについて

◆お手入れは柔らかい布で空拭きしてください。ベンジン、シンナーなどを使用しますと塗装がはげる恐れがあります。

保証、アフターサービスについて

◆製品に添付されている保証書には、販売店の捺印が必要です。捺印と所定事項をご確認の上、大切に保管してください。

◆お買い上げ日より一年間は保証期間となり、保証書の記載事項の範囲内で当社アフター機関が無償にて修理、調整をさせていただきます。修理依頼はお買い上げの販売店または下記アフターサービス部宛にご用命下さい。

※お客様の手によるトランスミッター(送信機)の分解は法律により禁止されています。

※お客様ご自身による分解・改造で生じた故障は保証期間中であっても有償扱いとなります。

トランスミッター部の取扱方法

各部の名称と使い方

①ギター・ケーブル

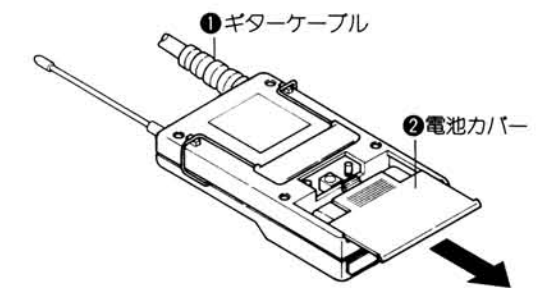
エレクトリック・ギター/ベースなどの出力ジャックに接続します。むりに引っ張ったり曲げたりしないでください。

②乾電池収納部(電池カバー)

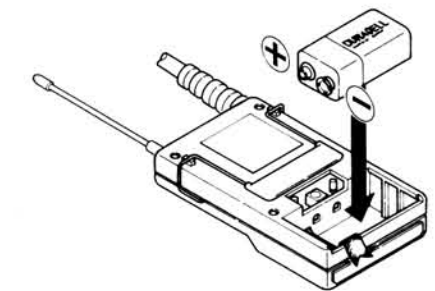
9Vアリカリ乾電池を収納します。デュラセルMN1604またはパナソニック6LR61Nを使用してください。

交換方法

1 電池カバーを矢じるし方向に引き抜いてください。

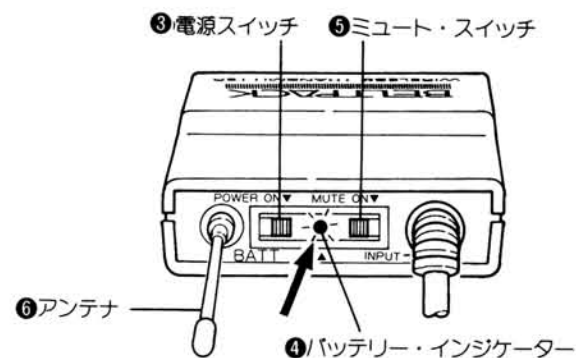


2 新しい電池を電池収納部の(+)(-)表示に従って正しく入れます。リボンを電池の下に敷き、次回の電池交換時に電池が簡単にはずれるようにしてください。



※電池交換は必ずレシーバーのボリュームを絞るか電源を切ってから行ってください。

※使用中に電池が飛び出さないよう電池カバーは確実にロックしてください。



③電源スイッチ (POWER ON)

トランスミッターの電源スイッチです。ONで電波が送信状態となります。

④バッテリー・インジケータ (BATT)

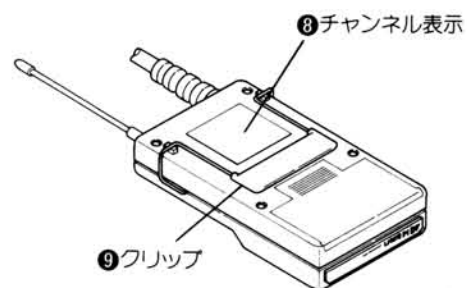
乾電池の交換時期を知らせます。電源スイッチをONにした瞬間点灯し、すぐに消えれば正常です。インジケータが点灯したまま消えない場合は乾電池が消耗していますので、新しい乾電池と交換してください。(乾電池が完全になくなってしまったか、乾電池が正しく入っていない場合、インジケータは全く点灯しません)

⑤ミュート・スイッチ (MUTE ON)

ONで電波を止めずに音声のみをカットします。一時的にトランスミッターを使用しない際のハウリング防止等に役立ちます。OFFで解除になります。

⑥アンテナ (ANT)

電波を発射するアンテナです。正常な送信を維持するため、曲げたり、引っ張ったりしないでください。アンテナは取りはずせません。



⑧送信チャンネル表示

トランスミッターの送信チャンネルが表示されています。トランスミッターの送信チャンネルとレシーバーの受信チャンネルが、同じでないで使用できませんのでご注意ください。

（電波システム開発センターの標準規格に基づくチャンネル呼称）

例



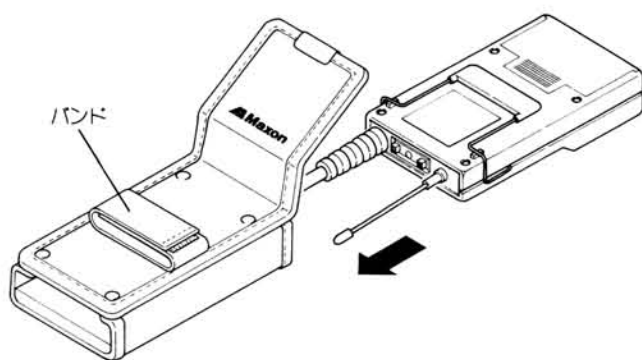
送信チャンネル表

チャンネル呼称	識別色	周波数
B11	茶	806.125MHz
B12	赤	806.375MHz
B13	橙	807.125MHz
B14	黄	807.750MHz
B15	緑	809.000MHz
B16	青	809.500MHz

⑨フリップ

付属のハードケースを使用せずにトランスミッターを洋服などに装着する場合、ポケット等に引っ掛け固定します。

ハードケースを使用する場合は図のようにハードケースにトランスミッターを入れ、ハードケースのバンドをギター用ストラップに固定します。



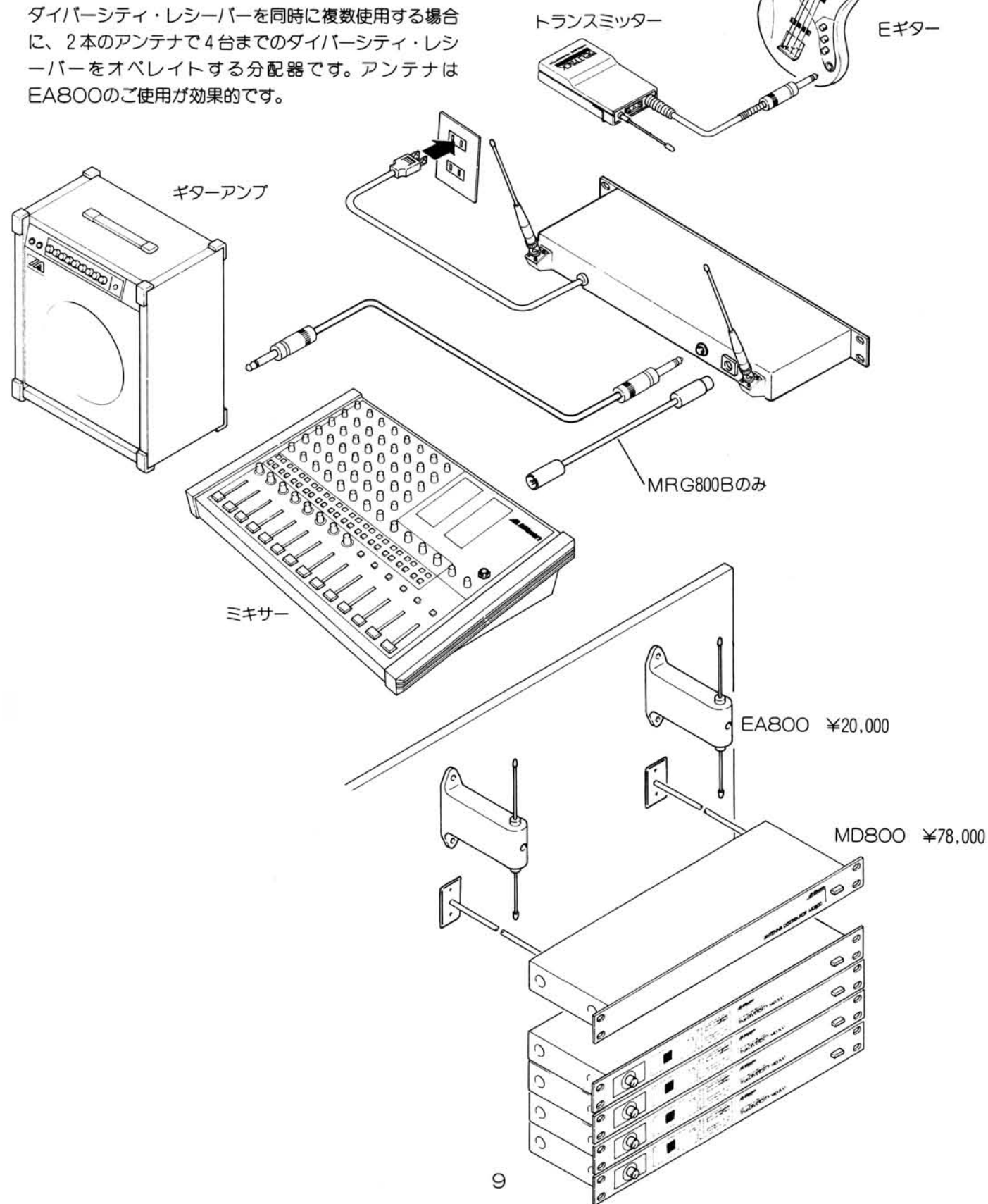
接続例 オプション

[オプション]

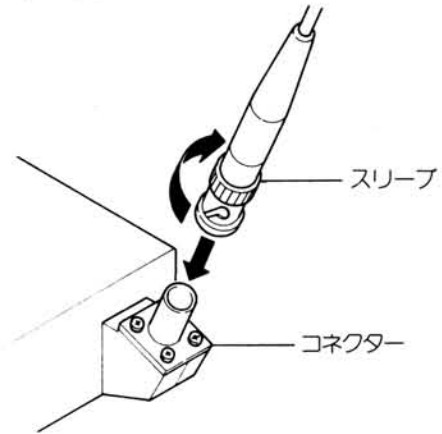
●外部アンテナ EA800 ¥20,000 ※生産終了品
ホール、催事場などでワイヤレス・システムを常設する場合の壁取り付け用アンテナです。

●MS800シリーズ専用混合分配器

アンテナ・ディストリビュータMD800 ¥78,000
ダイバーシティ・レシーバーを同時に複数使用する場合に、2本のアンテナで4台までのダイバーシティ・レシーバーをオペレートする分配器です。アンテナはEA800のご使用が効果的です。

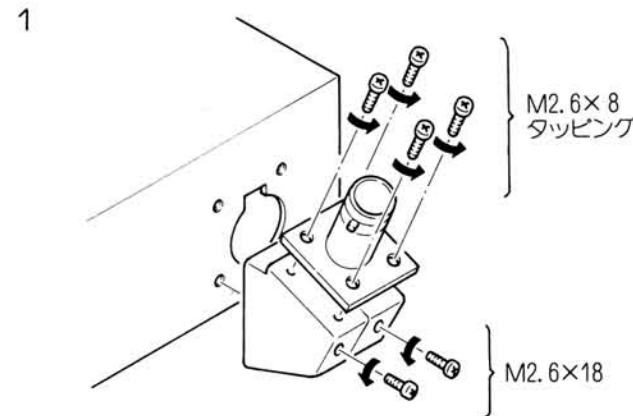


付属 1/2λホイップ・アンテナの取り付け方法

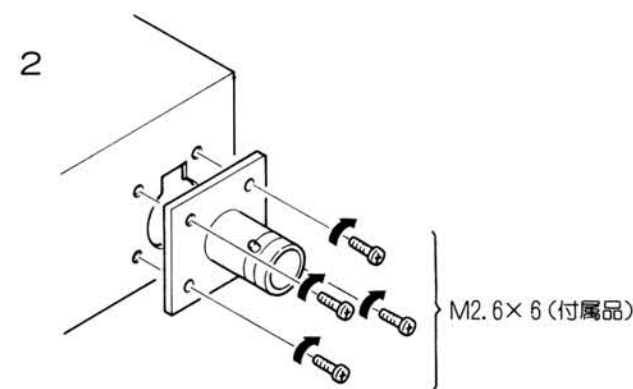


アンテナのBNCコネクタ部をレシーバーのコネクタに差し込み、コネクタのスリーブを右にいっぱいまで回すとロックがかかります。確実にロックするまで回してください。

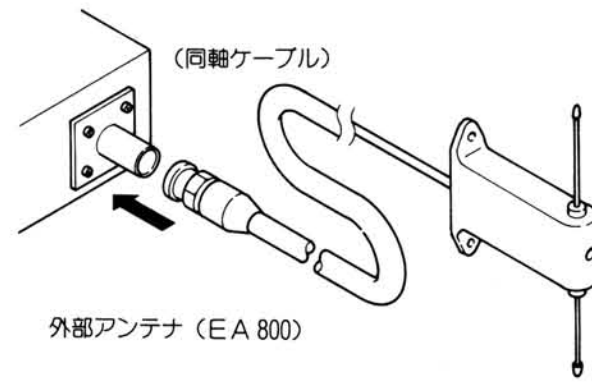
外部アンテナEA800のケーブル接続、及びレシーバーをフライト・ケース等のラックに収納する場合は以下の手順でアンテナ・コネクタを付け替えてください。EA800を接続する場合は同軸ケーブルを真後ろに、フライト・ケースに収納する場合は付属アンテナを真後ろに出すことができます。



1 コネクタを固定しているビスとアンテナ・ホルダーを固定しているビスをはずし、コネクタとアンテナ・ホルダーをはずします。



2 1ではずしたコネクタをリア・パネルに直接ビス止めします。



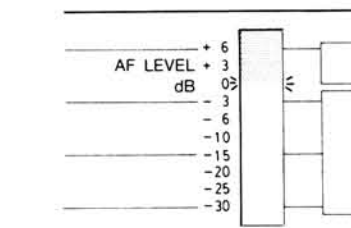
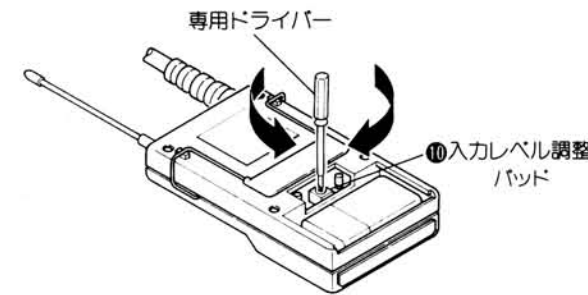
3 同軸ケーブルを接続します。

⑩入力レベル調整パッド

大入力時の歪みと小入力時のノイズを軽減させるためのパッドボリュームです。使用するギターやベースの最大出力に合わせて調整してください。

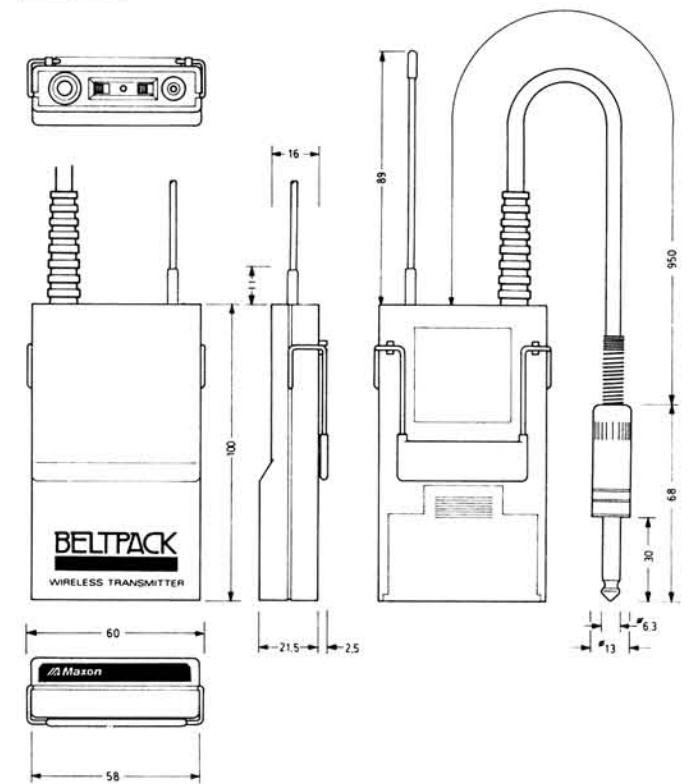
調整方法

- 1 トランスミッターとレシーバーをそれぞれセットし、ワイヤレス・システムを使用可能な状態にします。
- 2 ギター/ベースを弾き、音量が最大の時にレシーバーのAFレベルメーターが0dB付近を示すよう、パッド・ボリュームを調整してください。
- 3 パッド・ボリュームは右方向に回すとメーターの振れが大きくなり、左方向で小さくなります。必ず付属の専用ドライバーを使用してください。



(MRG800 AFレベル・メーター)
最大入力時に0dBを示すよう調整します

寸法図



マークについて

平成元年5月27日以降に製造販売され、国内で使用されるワイヤレスマイクロホンにはマークが表示されています。このマークの表示されている製品は電波法に基づく特定小電力無線局の技術基準適合証明を受けています。

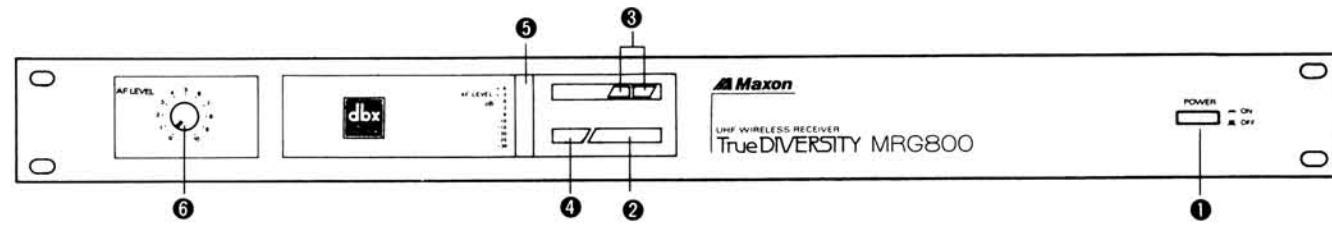
マークは(財)電波システム開発センター標準規格適合マークです。

MTX8/G、MTX8/Bは特定小電力無線局の技術基準適合証明を受けています。又、電波システム開発センターの標準規格に適合しています。

トランスミッターを、お客様が分解したり改造したりすることは法律で禁じられています。

レシーバー部の取扱方法

各部の名称と使い方



①電源スイッチ (POWER)

レシーバー本体の電源スイッチです。押すごとにONとOFFを繰り返します。

②パワー・インジケータ

電源がONになると点灯し、レシーバーが通電状態であることを表示します。

③ダイバーシティA/B表示 (DIVERSITY A/B)

A, B両チャンネルで同時に受信が行われますが、受信状態の良いチャンネル側のインジケータが点灯し、A, Bどちらが選択されているかを表示します。

④ミュート・インジケータ (MUTE)

レシーバーまたはワイヤレス・マイクロホン/トランスミッターのミュート機能が働いている間点灯し、機器が消音され音が出ない状態を表示します。ミュート機能は次の5つの状態の時に働きます。

1 レシーバーの電源スイッチを操作した場合

レシーバーの電源ON/OFF時のポップノイズをミュートします。トランスミッターの電源スイッチをON (ミュート・スイッチはOFF) にするとミュートは解除されます。

先にトランスミッターの電源スイッチがON (ミュート・スイッチはOFF) の状態にあり、後にレシーバーの電源スイッチをONにすると約3秒後にミュートが解除になり音が出ますが、これは遅延ミュート機能によるもので故障ではありません。

2 トランスミッターの電源スイッチをONにし、ハウリング防止やスタンバイなどの目的でトランスミッターのミュートスイッチをONにした場合。

トランスミッター側のミュート機能が働き、音声信号のみがカットされ音が出ません。ミュート・スイッチをOFFにすると約3秒後にミュートが解除になり音が出ますが、これは遅延ミュート機能によるもので故障ではありません。

3 レシーバーの電源スイッチがONでトランスミッターの電源スイッチがOFFの場合。

レシーバー側のミュートが働き、外来ノイズにより発生する「ザー」というノイズを防止します。トランスミッターの電源スイッチをON (ミュート・スイッチはOFF) にすると約3秒後後にミュートが解除され音が出ます。これは遅延ミュート機能によるもので故障ではありません。

4 ワイヤレス・システムを使用中トランスミッターが受信アンテナから離れ過ぎ、電波が届かなくなった場合。

レシーバー側のミュートが働き、外来ノイズにより発生する「ザー」というノイズを防止します。トランスミッターが受信アンテナに近づき、再び電波が届くようになるとミュートは解除されます。

5 ワイヤレス・システムを使用中にテッドポイントによる受信不良が発生し、電波が届かなくなった場合。

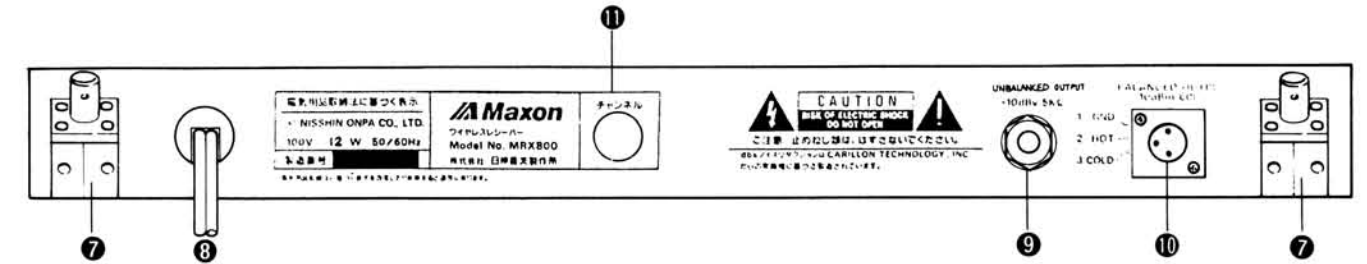
レシーバー側のミュートが働き、外来ノイズにより発生する「ザー」というノイズを防止します。トランスミッターが移動によりテッドポイントから抜け出るとミュートは解除されます。

⑤オーディオ・レベル・メーター (AF LEVEL)

トランスミッターから送られて来る音声信号の強さを表示します。歪みやノイズのない状態でお使いいただくためトランスミッターからの音声信号が最大の時、メーターの振れが0 dB付近を示すようトランスミッターのパッドボリュームを調整してください。(詳しくは5ページ ⑩入力レベル調整パッドをご覧ください)

⑥オーディオ・レベル・ボリューム (AF LEVEL)

レシーバーから出力されるオーディオ信号(音声信号)の大きさを調節します。右に回すほど音量が増加し、左いっぱいまで0になります。通常は5~9付近で使用します。



⑦アンテナ入力/電源出力コネクタ (ANTENNA INPUT 50Ω PHANTOM DC 9v/25mA Max)

受信用の付属アンテナや別売の外部アンテナ (EA800)を接続するコネクタです。アンテナの取り付け方法は8ページ「接続例」を参照してください。外部アンテナEA800 (オプション) にDC電源を供給します。(ファンタム電源 DC9v/25mA Max)

⑧電源コード/プラグ

必ずAC100Vのコンセントに差し込んでください。デジタル機器、照明用調光器、大型モーター等と同一のコンセントの使用はお避けください。

⑨出力ジャック (UNBALANCED OUTPUT)

音声を出力するフォーン (標準) ジャックです。アンプやミキサー等のアンバランス・インプット系 (フォーン・ジャック) へ接続します。フォーン・プラグを使用してください。

⑩バランス出力コネクタ (BALANCED OUTPUT)

音声を出力するバランス出力コネクタ (XLR) です。アンプやミキサー等のバランス・インプット系へ接続します。キャンノン (XLR) プラグを使用してください。

※バランス出力コネクタは、MRG800には装着されていません。

⑪受信周波数表示

レシーバーの受信周波数 (受信チャンネル) 表示です。トランスミッターのチャンネル表示とレシーバーのチャンネル表示が同一でないとご使用できませんのでご注意ください。また同一チャンネルでも1台のレシーバーに対し、同時に2台以上のトランスミッターはご使用できません。